

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 レース・シーサンビャク・ハイブリッド	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.520	△RG 0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：レース・シーサンビャク・ハイブリッド

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：レース・シーサンビャク

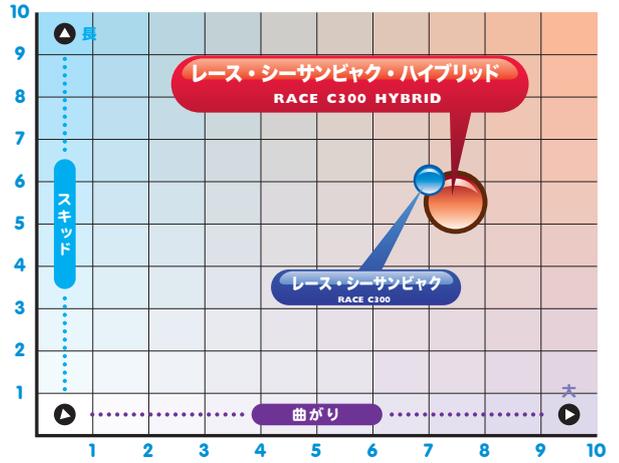
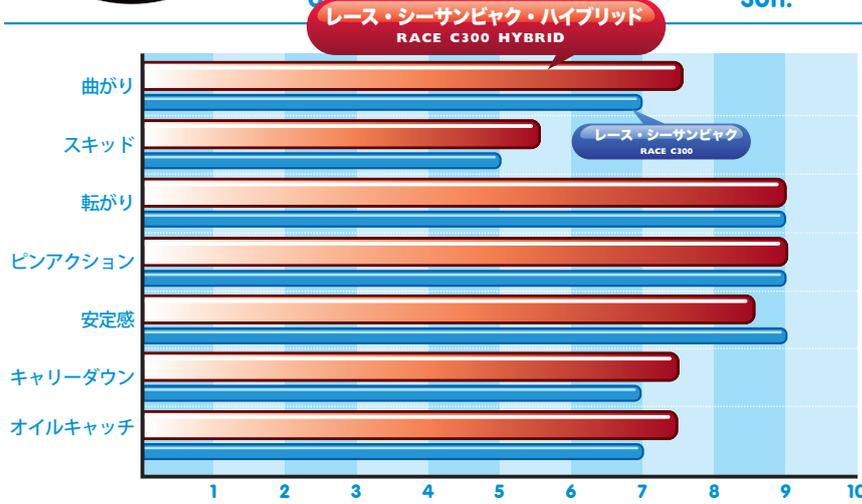
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

ABSはすべてのブランドですべての領域を活かすべくColumbia 300、Track、Pro-amにRACEシリーズを依頼し発売したのが昨年10月のRACE C300からでした。このRACEシリーズはミディアムライト領域でスペシャルな性能を3社各々で取り揃えることで、ブランドごとに特性を変えることで、エンドユーザー自らが選択の幅を広げることができる利点もあります。

今回のRACE C300 HybridはExciterカバーストックをPearlからHybrid化することでレーンヘッドのスキッド感はずえにオイルの吸収率を上げることでキャッチを高め、Hybrid化したグリップ感をバックエンドで俊敏な動きに反映させる試みが採用されています。RACE C300は実際他社メーカーのボールを投球しながら作り上げたボールですが、Hybrid化することでPearlにはなかった性能に触れることとなります。もしRACE C300で先の動きに物足りなさを感じていれば、このHybridでその印象を埋めてくれるに違いありません。

開発を進めるにあたりPearlを基準に性能の違いを見極めると、RACEの全体的なイメージは変わらないのですが、特徴を表す部分が変わります。一番はスキッドのプレーキのかかり具合がやや早めになったこと。プレーキがやや早めになったことでピンヒットまでの曲がりの大きさも入射角度までも変わり、同じコンディションで比較を行うと、Pearlでタップするラインでやや深めのピンヒットになるイメージでした。このRACEシリーズを持つ意図は、今やメインボールと言われる領域がミディアムからミディアムヘビーになっているのは、それだけ全体的なボールパフォーマンスはそこに集約していることを表し、そのボールたちに対応するべく全国のセンターがコンディションを作成しているということです。

必要なのは”それ以外”の領域で良いボール持っておくことがスコアメイクの鍵になるということです。

特記事項

メインボールから次のボールチェンジに悩む方は扱いやすく、しっかりとパフォーマンスを感じることができるRACE C300 Hybridを使用することをおすすめします。